

有明工業高等専門学校非常勤講師公募（中国語）  
（応募期限：令和元(2019)年6月28日）

1. 職名・人数

非常勤講師 1名

2. 所属部署

創造工学科

3. 担当科目

(1) 第二外国語（現代中国語、第4・第5学年後学期、内容については後掲シラバスを参照。）  
週1コマ（90分）、全15回

4. 職務内容

- (1) 担当科目の授業及び出欠確認
- (2) 授業に係る教材・シラバス作成
- (3) 試験問題（追認試験を含む。）の作成・採点・成績報告等

5. 応募資格：

文学（言語学）分野の学士以上の学位を取得されている方（修士以上が望ましい。）、または「3. 担当科目」について教授する能力のある方

※ 大学や高等専門学校等で、同様の科目について教授した経験があることが望ましい。

6. 雇用期間

令和元(2019)年10月1日～令和2(2020)年3月31日

7. 給与

時給4,800円

※ 1コマに要する時間を100分（授業時間90分+準備時間10分）とし、月末で締めた総合計時間に基づいて計算した給与を、原則翌月17日に支給します。

※ 答案返却や成績報告等で来校された時間についても、授業に準じて支給します。

※ その他、本校規則に基づき交通費を支給します。

8. 応募書類

(1) 履歴書…1部

以下のページから「（非常勤講師の公募）履歴書様式」（Word）をダウンロードして記載してください。

有明工業高等専門学校 HP→教職員公募

<https://www.ariake-nct.ac.jp/teacher-applicants>

有明工業高等専門学校非常勤講師公募（中国語）  
（応募期限：令和元(2019)年6月28日）

(2) 【日本語を母語としない者のみ】日本語力を証明する書類（日本語能力試験等の証明書のコピー）…1部

9. 応募締切

令和元(2019)年6月28日(金)必着

10. 選考方法

書類選考（必要に応じて、面接・模擬授業等を実施する場合があります。）

11. 応募書類の提出先

〒836-8585 福岡県大牟田市東萩尾町150

有明工業高等専門学校 総務課人事労務係

TEL：0944-53-8612（直通） E-mail：soujin-staff@ml.ariake-nct.ac.jp

※ 封筒に「非常勤講師応募書類在中」と朱書し、簡易書留で郵送してください。

原則、書類等は返却いたしませんので、特に返却を希望する場合は、「返信用封筒（切手もしくは着払い伝票などを貼付）」と「返却してほしい書類等名を記載したメモ」を同封してください。

12. 公募に関する問い合わせ先

有明工業高等専門学校 教務主事 明石 剛二

TEL：0944-53-8604（直通） E-mail：kyoumu-shuji-staff@ml.ariake-nct.ac.jp

13. 備 考

(1) 本校は男女共同参画を推進しており、業績(教育業績、研究業績、社会的貢献、人物を含む)の評価において同等と認められる場合には、女性を優先的に採用します。

(2) 応募書類に記された個人情報、本教員選考のためにのみ使用し、そのほかの目的には使用しません。

(3) 選考結果に関する一切の照会には応じられませんので、あらかじめご了承ください。

(4) 選考に係る全ての経費(旅費・郵送料を含む)は、応募者の負担となります。

有明工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	第二外国語		
科目基礎情報							
科目番号	0048		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位:2/履修単位:1			
開設学科	全学科対象		対象学年	4・5			
開設期	後期		週時間数	前期:0 後期:1			
教科書/教材	『初級中国語教科書+参考書』 (小川郁夫著・2009年初版・白帝社)						
担当教員	G 新人						
到達目標							
1. 現代中国語のピンインや簡体字を理解できる。 2. 現代中国語の簡単な発音や日本語への翻訳ができる。 3. 現代中国事情について理解できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	自ら積極的に、現代中国語のピンインや簡体字を理解できる。		現代中国語のピンインや簡体字を理解できる。		課題に取り組みず、定期試験でも学力の定着が見られない。		
評価項目2	自主的に取り組み、現代中国語の簡単な発音や日本語への翻訳ができる。		現代中国語の簡単な発音や日本語への翻訳ができる。		発音練習や翻訳に取り組みず、定期試験でも学力の定着が見られない。		
評価項目3	日ごろのニュースなどを通じて、現代中国事情を理解できる。		現代中国事情を理解できる。		現代中国事情に関心を示さない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 A-1, 学習・教育到達度目標 A-3							
教育方法等							
概要	この科目では、初級レベルの現代中国語をとりあげ、表音文字であるピンインや簡体字表記を学び、簡単な発音や日本語への翻訳をおこなう。その際、あわせて現代中国語の背景となる現代中国事情を紹介する。						
授業の進め方と授業内容・方法	テキストを使用し、要点を板書しながら授業を進める。適宜プリントを配布し、課題を課す。						
注意点	初歩的な現代中国に関する知識を必要とする。						
授業計画							
	週	授業内容・方法		週ごとの到達目標			
後期	1週	ガイダンス		授業内容と注意点を理解する。			
	2週	発音 (1)		声調と基本母音について理解する。			
	3週	発音 (2)		複雑な母音と子音について理解する。			
	4週	こんにちは		簡単なあいさつができるようになる。			
	5週	のどが渇いていますか		簡単な疑問文ができるようになる。			
	6週	張文と申します		名前の尋ね方と答え方ができるようになる。			
	7週	これは何ですか		是を用いる文を理解する。			
	8週	中間試験					
	9週	何を食べますか		動詞+目的語の文を理解する。			
	10週	今日は何月何日ですか		日時に関する疑問文を理解する。			
	11週	何人家族ですか		有を用いる文を理解する。			
	12週	何人の学生がいますか		多少を用いる文を理解する。			
	13週	中国に行ったことがありますか		動詞+過の文を理解する。			
	14週	これまでのまとめ		これまでの授業内容が復習できる。			
	15週	期末試験					
	16週	テスト返却と解説		テスト結果が確認できる。			
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0